

## 【西南華道愛好会 廃部のご報告】

西南華道愛好会は、1955年（昭和30年）、当時まだ女子学生の数が少なかったことから、昼休みなどに安心して過ごせる場が必要であるとの判断のもと、当時の船越学長のご配慮により、一号館に女子学生のための場所を確保していただいたことをきっかけに発足いたしました。

華道の講師としては、大串華潮先生、伸潮先生にご指導を賜りました。初期の流派は「安達式插花」のちに、「潮式」を基本にし、その後、「西南華道」と称しました。初代顧問には山中先代教授が就任されました。その後、アルマ・グレース教授、中村栄子教授、中村奈良江教授と、多くの先生方に温かくお支えいただき、長年にわたり西南華道愛好会の活動を育んでくださいました。

講師は、長きにわたり大串先生にご指導いただき、その後は本学卒業生である江副史潮講師に引き継がれ、2026年まで変わらぬご指導と深いご厚情を賜りました。なお、最後の幹事は小松姫奈が務めました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響や学生数の減少により、活動の継続が困難となり、このたび西南華道愛好会は廃部することとなりました。

発足以来長きにわたり、西南華道愛好会を支えてくださいました先生方、関係者の皆様、そして歴代の部員の皆様のご尽力とご厚情に、心より深く感謝申し上げます。西南華道愛好会で育まれてきた伝統と学びは、部員一人一人の心の中でこれからも生きてまいります。これまで支えてくださった皆様への感謝の思いを胸に、ここに西南華道愛好会の歴史を静かに閉じることといたします。

改めまして、これまで温かく見守りお支えくださった皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

2026年3月末日

幹事・第26期：小松姫奈

講師：江副史潮